

先進地に学ぶ（行政視察報告）

今回の視察により多くの参考すべき事項がありました。今後、執行部、議員一同と連携して奥出雲町の行政に取り組んでまいります。

教育福祉常任委員会 11月19日

（委員6名、議長、議会事務局長）

○邑智郡邑南町、元気館及び邑南町役場

1 元気館を活用した健康づくり

- ①ウオーキングプールもある充実した設備、機器の完備された施設であり、指導者が常駐し、開館は午前9時30分から午後9時と多くの方の利用が可能である。また、運営は、外部委託でされている。
- ②国保の受診率が県内でもトップクラスを維持されているのは、日曜日の受診勧奨や集団検診、個別検診フォローの進め方特定健診の単独実施等について、実情を伺った。

2 子育て支援、若者定住を核としたまちづくり

- ①介護人材の受け入れについて、就労人口は2割が医療、介護関係。矢上高校からの進学先も医療系が多い。医療、福祉関係の資格取得に関しては奨学金が出ている。さらに、資格取得して町内に就職すると奨学金の返還が免除される。

- ③児童生徒数の減少に伴う学校再編を行う前に、まずは、移住定住対策をとことんやる。「日本一の子育て村構想」の開始前データと開始後データにおいて人口予測が増加している。
- ④正しい行政情報（自治会・学校・公民館情報）をいかに分かり易く町民伝えるかを重要視しており目標の設定と取組みの検証がなされている。



総務経済常任委員会 11月4～5日

（委員7名、議長、地域づくり振興課長、農業振興課長、議会事務局長）

○邑智郡美郷町、山くじら研究所 ○鹿足郡吉賀町 ○津和野町日本遺産センター

1 美郷町 山くじら研究所、麻布大学との連携による獣対策の特徴

- ①狩猟免許を取得した農業者（被害者）による駆除班を組織。猟友会と一線を画し駆除と狩猟を区別し、狩猟に頼らない害獣駆除方法を採用している。
- ②防護柵（10センチのメッシュ）を使用、また猪の習性を利用した箱わなを試作中。
- ③駆除肉（ジビエ）を町おこしに利用。製品として「おおち山くじら」の缶詰や残渣（ざんさ）を加工し飼料として商品化している。



- ④対策費・補助金の依存意識から被害者である農業者が主体となって駆除するという意識改革を実践している。

2 吉賀町 デマンド交通と温泉施設活性化の取り組み

- ①デマンド交通は町から委託を受ける2社により運営されスクールバスも同様に運営されている。デマンド便はドアツードアを基本に高齢者や交通弱者に配慮した運行にその役割を果たしている実情を学んだ。
- ②温泉施設の活性化では本町と同様に指定管理で委託され運営されている。

3 津和野町 日本遺産センター

江戸時代のまちの風景を描いた百景図を基にした「津和野町今昔・百景を歩く」が文化庁による日本遺産制度の認定を受け、以来町の観光スポットとして観光の拠点となっている。

町村議会広報研修会 11月11日

議会広報公聴常任委員会委員7名は松江市の「タウンプラザしまね」で開催された町村議会広報研修会に出席しました。

講師は東京在住グラフィックデザイナー長岡光弘氏で、『読まれる議会だよりの編集と表現のポイント』というテーマで、各町議会発行の議会だよりを講評しながらの講義を受けました。

広報作成にあたっては、大見出し・中見出し・小見出しを付けるようにとのことで今回、一般質問の最初に目次を入れて作成しました。



広報公聴常任委員会 11月18日

（委員7名 議長 議会事務局長）

○浜田市議会

議会広報公聴常任委員会は浜田市議会を中心に、広報公聴の取り組みを視察しました。

これは本町議会が広報公聴常任委員会となったことを受け、公聴機能の充実を図るため、事業の参考事例として、同市議会が実施した「はまだ市民一日議会」を視察したものです。

1日議会とは同市議会が実施したもので、市民が議会の議場で意見を述べ、これを議員が聴き、議会活動や市政に活かす公聴機能向上の議会活動です。これを参考に、本町議会も公聴活動に取り組みたいと考えています。

